



液体芳香剤の誤飲 重症になることも

事例

トイレに置いていた液体
芳香剤を誤飲した。
3回吐き、激しくせき

込んだ。その後、熱が出て、
呼吸が速くなった。
翌日病院に行ったら
化学性肺炎と診断され
2週間入院した。
胸部CTにて、肺の
一部が空洞のようになっ
ている箇所がみられ、治
るかどうかは不明である。

(当事者：1歳 男児)



©Kurosaki Gen

ひとことアドバイス

- 液体芳香剤は、乳幼児の手や目が届かない場所で使用・保管しましょう。
- 液体芳香剤の液は、気管に入ると化学性肺炎を生じる危険があります。誤飲しても慌てて吐かせずに、商品名と飲んだと思われる量を確認し、すぐに
- 液体芳香剤の液が目に入った場合は、すぐに流水で洗い流しましょう。皮膚に付いた場合は、かぶれるおそれがあるので石けんなどでよく洗いましょう。

(誤飲した場合の主な相談機関)

「公益財団法人日本中毒情報センター 中毒110番」
大 阪：072-727-2499 (365日、24時間対応)
つくば：029-852-9999 (365日、9～21時対応)



さぼーとくん